

令和7年度 日向市立大王谷学園 自己評価及び学校関係者評価

<p>1 学校経営理念 ○ 4つの幸せ 児童生徒の幸せ：この学校に行っても良かった 保護者の幸せ：この学校に行かせて良かった 学園の幸せ：この学校の卒業生がいて良かった 職員の幸せ：この学校で働けて良かった</p>	<p>2 学校の教育目標 『一人前の社会人・職業人・地域人・家庭人の育成』</p>	<p>3 目指す児童・生徒像 「自立・貢献」できる児童生徒</p>
---	---	---

【評価基準 4段階評価 4…期待以上 3…期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

重点指導項目	主な取組	評価内容及び結果	自己評価	結果分析及び対応策	委員評価	学校運営協議会での意見																					
1 楽しい学校	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のがんばりを認め、称賛する取組 児童生徒の活動の自主的運営への支援 諸行事の企画運営への参画 	<p>【楽しい学校】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>学校がたのしい。</td><td>3.61</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.32</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>楽しく学校に通っている。</td><td>3.44</td></tr> <tr><td>職員</td><td>仕事が充実している。</td><td>3.32</td></tr> </table>	小学生	学校がたのしい。	3.61	中学生		3.32	保護者	楽しく学校に通っている。	3.44	職員	仕事が充実している。	3.32	3.42	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に高い評価である。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のがんばりを認め、称賛する機会を引き続き実践していく。 	3.29	<ul style="list-style-type: none"> 色々なイベントを楽しんでいる様子が見られる。 はげまし隊来校を楽しみにしている児童の様子が窺われる。 全体的に評価が高く、多くの児童生徒が前向きな気持ちで登校でき、学校に行くのを楽しんでいることはよいことである。 楽しさを見出せる学校づくりや教員の充実した職場環境づくりに期待する。 									
小学生	学校がたのしい。	3.61																									
中学生		3.32																									
保護者	楽しく学校に通っている。	3.44																									
職員	仕事が充実している。	3.32																									
2 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 分かる授業と指導の工夫 はげまし隊や花まる先生の活用 家庭学習の充実 	<p>【学力向上】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>授業が分かる。</td><td>3.45</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.04</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>家庭で学習ができています。</td><td>3.00</td></tr> <tr><td>職員</td><td>よりよい授業を目指して工夫改善している。</td><td>3.40</td></tr> </table>	小学生	授業が分かる。	3.45	中学生		3.04	保護者	家庭で学習ができています。	3.00	職員	よりよい授業を目指して工夫改善している。	3.40	3.22	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数少人数授業、はげまし隊や花まる先生の活用により、学習の定着につなげることができた。 必要に応じてICTの活用を図りながら、分かる授業を目指した指導の工夫改善を行っている。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検査結果の分析をし、授業改善に取り組む。 家庭学習(タブレット学習含む)の啓発を図る。 	3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育では、何を教え、何を考え、何を身に付けるか(基礎知識)だと思う。 家庭での評価がやや低い。今後も保護者と協力して学力向上を目指してほしい。 学校単位での学力レベルの把握ができる機会があるとよい。 全体的に子どもたちが落ち着いて授業を受けており、先生方も工夫しながら分かりやすく授業を進めている姿が印象的だった。 									
小学生	授業が分かる。	3.45																									
中学生		3.04																									
保護者	家庭で学習ができています。	3.00																									
職員	よりよい授業を目指して工夫改善している。	3.40																									
3 あいさつ・返事	<ul style="list-style-type: none"> 児童会・生徒会活動の充実 家庭・地域との共通理解・共通実践 常時指導の充実 	<p>【あいさつ・返事】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>あいさつや返事、会釈ができています。</td><td>3.50</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.50</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>お子様は、あいさつや返事、会釈ができています。</td><td>3.27</td></tr> <tr><td>職員</td><td>あいさつや返事ができるよう指導している。</td><td>3.51</td></tr> </table>	小学生	あいさつや返事、会釈ができています。	3.50	中学生		3.50	保護者	お子様は、あいさつや返事、会釈ができています。	3.27	職員	あいさつや返事ができるよう指導している。	3.51	3.45	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ・返事については、小中で連携して行っているため、全体的によくできている。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ・返事ができている児童生徒とそうでない児童生徒の個人差が大きい。引き続き常時指導を充実させる。 家庭・地域と連携して取り組んでいく。 	3.57	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶はよい。人の話を聞く時の態度が少し気になる。 クラスの友達同士での声のかけ合いをとおして、挨拶・返事ができるようになってほしい。 保護者の評価がやや低い。家庭での挨拶も大切にしてほしい。 初等部児童より中等部生徒の方がより積極的に挨拶をしてくれる場面が多かった。 登下校で挨拶を交わすことが多いが、校内での挨拶、授業中の返事も身に付いていると感じた。 									
小学生	あいさつや返事、会釈ができています。	3.50																									
中学生		3.50																									
保護者	お子様は、あいさつや返事、会釈ができています。	3.27																									
職員	あいさつや返事ができるよう指導している。	3.51																									
4 自立・貢献	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実 当番・係活動や委員会活動の充実 家庭・地域との連携 	<p>【自立・貢献】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>学校の授業や清掃で準備や片付けを自分でできている。</td><td>3.58</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.51</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>学校で任された活動をきちんとできている。</td><td>3.60</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.46</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>お子様は、ご家庭で自分の役割を果たしている。</td><td>3.16</td></tr> <tr><td>職員</td><td>児童生徒が役割を果たすよう指導している。</td><td>3.34</td></tr> </table>	小学生	学校の授業や清掃で準備や片付けを自分でできている。	3.58	中学生		3.51	小学生	学校で任された活動をきちんとできている。	3.60	中学生		3.46	保護者	お子様は、ご家庭で自分の役割を果たしている。	3.16	職員	児童生徒が役割を果たすよう指導している。	3.34	3.44	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に高い評価である。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も子どもたちの心に響く道徳教育を実践する。 諸活動等において、やりがいや達成感を味わうことができるよう工夫改善に取り組む。 参観日や学校便りをとおして、引き続き家庭・地域との連携を図っていく。 	3.29	<ul style="list-style-type: none"> 自分がしてもらったことを今度は下級生や誰かにしてくれると思える児童がいる。 学校では自分の役割には責任をもって対応している。家庭でもルールを作ってみるのはどうだろうか。 保護者からの評価がやや低い。家庭・地域での役割(お手伝いなど)も家族で話し合い、社会に向けての準備をしてほしい。 			
小学生	学校の授業や清掃で準備や片付けを自分でできている。	3.58																									
中学生		3.51																									
小学生	学校で任された活動をきちんとできている。	3.60																									
中学生		3.46																									
保護者	お子様は、ご家庭で自分の役割を果たしている。	3.16																									
職員	児童生徒が役割を果たすよう指導している。	3.34																									
5 キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ねらいや学びのつながりを意識した教育活動の展開 地域人材の活用 体験活動の充実 	<p>【キャリア教育】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>学習(体験や講話等)をとおして、職業や働くこと、地域のことについて考えることができています。</td><td>3.30</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.15</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>お子様は、夢や目標をもっている。</td><td>3.03</td></tr> <tr><td>職員</td><td>将来のことを考えさせるようなキャリア教育が実践できた。</td><td>2.93</td></tr> <tr><td>職員</td><td>地域人材の活用を図ることができた。</td><td>2.88</td></tr> </table>	小学生	学習(体験や講話等)をとおして、職業や働くこと、地域のことについて考えることができています。	3.30	中学生		3.15	保護者	お子様は、夢や目標をもっている。	3.03	職員	将来のことを考えさせるようなキャリア教育が実践できた。	2.93	職員	地域人材の活用を図ることができた。	2.88	3.06	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用や体験活動は実施しているが、将来のことを考えた意識の高まりまでには至っていない。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コーディネーターやキャリア教育支援センターの活用を図り、キャリア教育の視点をもった活動への取組を推進していく。 	3.29	<ul style="list-style-type: none"> 学びの提供が、将来の仕事を決めるきっかけになればよい。 いろいろな仕事があり、見たり、聞いたりするのはよい。職場体験は荷が重い気もするが、やりたいと思う仕事の体験参加はよい経験になる。 保護者を活用して体験できる機会を増やすことで、働くことへの興味につなげていけるとよい。 キャリアフェスタ中止は残念だったが、来期以降も開催し、よりよい内容に更新してほしい。 						
小学生	学習(体験や講話等)をとおして、職業や働くこと、地域のことについて考えることができています。	3.30																									
中学生		3.15																									
保護者	お子様は、夢や目標をもっている。	3.03																									
職員	将来のことを考えさせるようなキャリア教育が実践できた。	2.93																									
職員	地域人材の活用を図ることができた。	2.88																									
6 規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 時と場に応じた行動規範の徹底 	<p>【規範意識の醸成】</p> <table border="1"> <tr><td>小学生</td><td>きまり(ルール)を守ることの大切さに気づくことができています。</td><td>3.61</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.53</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>時と場に応じた態度(マナー)の大切さに気づくことができています。</td><td>3.58</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.61</td></tr> <tr><td>小学生</td><td>礼儀(エチケット)の大切さに気づくことができています。</td><td>3.63</td></tr> <tr><td>中学生</td><td></td><td>3.70</td></tr> <tr><td>職員</td><td>ルール(規律)、マナー(態度)、エチケット(礼儀)の力を高めるような指導ができた。</td><td>3.24</td></tr> </table>	小学生	きまり(ルール)を守ることの大切さに気づくことができています。	3.61	中学生		3.53	小学生	時と場に応じた態度(マナー)の大切さに気づくことができています。	3.58	中学生		3.61	小学生	礼儀(エチケット)の大切さに気づくことができています。	3.63	中学生		3.70	職員	ルール(規律)、マナー(態度)、エチケット(礼儀)の力を高めるような指導ができた。	3.24	3.56	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に高い評価である。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルール、マナー、エチケットの意味と必要性を子ども自らに理解させ、継続して規範意識の醸成に努める。 	3.29	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供、共有が望ましい。 中学生の礼儀に対する評価が高い。相手を想う心がないと礼儀は身に付かないので、育てているということだろう。 児童生徒と職員との差が気になるがTPOを考えた行動ができていないこともあるのかもしれない。社会人になったときに使い分けができるよう引き続き指導をお願いしたい。 「親の背中を見て子は育つ」の原点を大切に、保護者と連携して規範意識の醸成に向けた取組をしてほしい。
小学生	きまり(ルール)を守ることの大切さに気づくことができています。	3.61																									
中学生		3.53																									
小学生	時と場に応じた態度(マナー)の大切さに気づくことができています。	3.58																									
中学生		3.61																									
小学生	礼儀(エチケット)の大切さに気づくことができています。	3.63																									
中学生		3.70																									
職員	ルール(規律)、マナー(態度)、エチケット(礼儀)の力を高めるような指導ができた。	3.24																									
7 コミュニティ・スクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の充実 学校での活動等の情報発信 学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進 	<p>【コミュニティ・スクールの推進】</p> <table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>学校は、情報の発信を行っている。</td><td>3.18</td></tr> <tr><td>職員</td><td>学校の情報を地域や保護者に発信することができた。</td><td>2.85</td></tr> </table>	保護者	学校は、情報の発信を行っている。	3.18	職員	学校の情報を地域や保護者に発信することができた。	2.85	3.02	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を計画的に実施することができた。 学校の情報発信が十分ではないと考えている職員の意識が窺えた。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> マチコミメールの活用、ホームページの更新、学園便りの定期発行を引き続き行う。 	3.43	<ul style="list-style-type: none"> 地域と共にある学校をめざし、地域も学校も元気であってほしい。 これからも学校からの発信をお願いしたい。 職員には、多忙な中、様々な形で発信してもらっていることに感謝申し上げたい。今後も様々な工夫を行い発信に努めてほしい。 															
保護者	学校は、情報の発信を行っている。	3.18																									
職員	学校の情報を地域や保護者に発信することができた。	2.85																									
8 小中一貫校	<ul style="list-style-type: none"> 「大王谷学園ランドデザイン」の7つの重点事項を意識した教育活動の展開 児童生徒を褒めて伸ばすSWPBSの共通実践 児童生徒の交流活動 	<p>【小中一貫校】</p> <table border="1"> <tr><td>職員</td><td>小中一貫校としての取組ができた。</td><td>2.71</td></tr> </table>	職員	小中一貫校としての取組ができた。	2.71	2.71	<p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中合同研修の機会を増やし、児童生徒の交流活動を新たに実施したことで、小中連携した共通実践につなげることができ、昨年度より職員の意識の高まりが窺えた。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の合同研修会や児童生徒の交流活動を引き続き実施し、小中一貫教育の推進を図っていく。 	4.00	<ul style="list-style-type: none"> 小中での関わりをもう少し増やせないか。 昨年度より、一貫校としてつながりを持つ取組をしている。 今年は、いろいろな研修・活動をしている。少しずつ結果が出てくると思う。反省を受け、次の実践につなげてほしい。 毎年課題があると感じるし、地域の保護者からも意見をもらうこともある。今後も大王谷らしい一貫校をつくってほしい。 初等部の児童がより多く中等部の時間を体験できる取組を構築してほしい。 																		
職員	小中一貫校としての取組ができた。	2.71																									